

平成 28 (2016) 年度

厚木市当初予算

あつぎの元気 **先見** 予算

予算総額 [過去最大]

1,503億2,204万6千円 (6.9%増)

一般会計予算の特徴

- ▶ 4年連続でプラス！初めて800億円を超える過去最大予算。
- ▶ 投資的経費(普通建設事業)は、約16億5千万円(21.6%)の増。

▶ 一般会計

805億8,000万円 (3.6%増) [過去最大]

※H27補正で措置する 国の交付金を活用した 地方創生に向けた事業など、約8億を含めると約813億円の予算規模。

▶ 特別会計

505億8,132万円 (1.1%増)

▶ 公営企業会計

191億6,072万6千円 (49.3%増)

※厚木市立病院建設最終年度

徹底した 行財政改革の推進

“健全財政を堅持し、持続的な発展を可能にする 行財政の確立”

総額 **29** 億円の効果額

1 歳入確保の強化

- ①税・料等の収納対策の強化
- ②国庫補助金等の更なる確保
- ③受益者負担の見直し など

約 **18** 億円

2 歳出の削減

- ①職員給与費の独自引下げの継続
- ②施設等の維持管理費等の見直し
- ③委託料等の見直し など

約 **11** 億円



(3つの重点項目)

将来を見据え、持続可能な都市であるために

あつぎの 元気**先見** 予算 2016

本市の将来の発展に欠かすことのできない

都市基盤整備

+

人口の将来展望の実現に向け、
市民協働により将来にわたって活力あるまちの礎を築く

地方創生

誰もが安心して生きがいを持って生活することができる

地域包括ケア社会の実現

8つの主要事業

1 本厚木駅南口地区市街地 再開発事業

都市基盤整備

H30年度
完成予定

2 厚木PAスマートインター・ 街路整備関連事業

都市基盤整備

H30年度
完成予定

※環状3号線・本厚木下津古久線は、H32年度完成予定

3 中町第2-2地区周辺整備 関連事業

都市基盤整備

H29年度
基本計画
策定

4 森の里東土地地区画整理 関連事業

都市基盤整備

H29年度
完成・企業
操業予定

※A地区



5 母子支援事業

地方創生

7 市民体力向上推進事業

6 地域包括ケア社会関連 事業

地域包括ケア

8 ロボット産業推進関連事業

H28年度に**完成する**主な事業

1 市立病院建設事業 (病院事業会計)

H29年春
全面
OPEN



2 小学校教室冷暖房 設備設置事業

小・中
100%
完備

※普通教室



3 (仮称) 保健福祉センター 整備事業

H29年春
OPEN



4 防犯灯LED化事業

100%
LED



5 厚木南公民館新築 事業

H29年春
OPEN





あつぎの元気先見予算2016

(主要事業)

本厚木駅南口地区 市街地再開発事業

～魅力ある玄関口の整備に向けて～



予算額

対前年度 約 15 億円増

約 16 億 5,000 万円

本厚木駅南口地区において、交通結節点の機能強化を図るとともに、商業・業務・居住などの複合的な都市機能の整備を促進し、魅力ある駅周辺の顔づくりを目指します。

【面積】約0.8ヘクタール

【内容】再開発ビル・駅前広場の拡充整備

【施行者】市街地再開発組合

【H28年度の主な組合事業】

- 権利変換計画認可(県知事)
- 除却整地に伴う用地、建物等の補償
- 既存建築物の除却、整地

H30年度
完成予定



H28年度は、既存建築物の除却・整地がスタート

厚木パーキングエリア

スマートインター

街路整備関連事業

スマートIC
H30年度
完成予定

～交通環境の更なる充実に向けて～



予算額

対前年度約 6.6 億円増

約13億6,000万円

○スマートインターチェンジ整備・用地取得事業
(仮称)厚木パーキングエリアスマートインターチェンジの
開通に向け、測量や設計、事業用地の取得を実施します。

○街路整備関連事業
新東名高速道路(仮称)厚木南ICへのアクセス機能や都
市計画道路としての交通ネットワーク構築のため、本厚木
下津古久線と厚木環状3号線の早期整備を目指し、道路
用地の取得や造成工事等を実施します。

H32年度完成予定



中町第2-2地区

周辺整備関連事業

H29年度
基本計画
策定

～魅力とにぎわいあふれる拠点都市を目指して～



予算額

対前年度 約 1.6 億円増

約2億2,000万円

新たな集客の核となる複合施設の整備に向け、基本方針の実現を目指し、平成29年度に複合施設の基本計画を策定します。

【H28年度の主な取組】

- 複合施設の基本計画案作成
- 周辺道路の概略設計
- (仮称)こども未来館の基本構想策定
- 新たな図書館の基本構想策定
- 保健センターの解体設計
- 用地取得、移転補償 (公共用地取得事業特別会計)



(仮称)こども未来館・新たな図書館の基本構想策定

森の里東土地区画 整理関連事業

～企業誘致・経済活性化に向けて～



予算額 約7億円

森の里東土地区画整理事業の施行を促進するため、森の里東土地区画整理組合に対する支援等を実施し、計画的かつ充実した都市基盤を形成します。

H27年1月に着手したA地区の工事進捗は約40%に達し、H29年度の工事完成と立地企業の操業を予定しています。

【H28年度の主な取組】

- 市補助金の交付
- 公共施設管理者負担金の支出
- 関連道路整備の実施(拡充)

※写真は、A地区の現在の様子

A地区の工事進捗40%・H29年度工事完成予定

B地区:H32年度/C地区:H35年度工事完成予定

A地区
H29年度
企業操業
予定



あつぎの元気先見予算2016

7つのカテゴリー別 主要事業

健康長寿・ 医療・福祉

1

市立病院建設事業(病院事業会計) ● 拡充

外来診療と入院病棟の機能を担うB棟の工事がH28年秋に完成し、駐車場整備等の外構工事もH29年3月に完成予定。H29年春全面オープン。

2

地域包括ケア社会関連事業 ● 拡充

可能な限り住み慣れた地域で安心して生活できる地域包括ケア社会の実現に向けた取組を推進するとともに、地域包括支援センターを厚木南と睦合南に新たに2か所整備。

3

がん検診事業 ● 拡充

がんの予防や早期発見のため、複数のがん検診を一度に行えるセット検診の定員数を大幅に拡大するとともに、口腔がんの施設検診を新たに導入。

4

未病施策事業 ● 拡充

超高齢社会を迎え、保健センターに設置の健康度見える化コーナーにおいて、継続的な健康度チェックと専門職による健康相談を実施。

5

(仮称)保健福祉センター整備事業(継続費)

総合福祉センターと保健センターの機能を統合し、保健・医療・福祉の拠点施設として、(仮称)保健福祉センターを整備。H29年春オープン。



安心安全 防災減災



- 1 防犯灯LED化事業(債務負担行為)** ● 新規
市が管理する防犯灯を一斉にLEDに交換。照度アップを図るとともに、環境負荷の軽減や自治会に依頼していた蛍光灯交換、電気料等の維持管理コストなどが大幅に軽減。
- 2 準用河川安全対策事業** ● 新規
市民が平時に水害リスクを認識し、災害時に的確な避難ができるよう、準用河川恩曾川の洪水に対する浸水想定区域図を作成。
- 3 自転車シミュレーター導入事業** ● 新規
自転車事故の抑制と利用者のマナー向上を図るため、危険予知・予測能力を高める「自転車シミュレーター」を導入し、交通安全教育を推進。
- 4 新型防災ラジオ整備事業** ● 拡充
災害時における情報発信の充実・強化と防災行政無線の難聴地域の解消を図るため、新型防災ラジオの有償配布をスタートし、購入費用の一部を助成。
- 5 厚木排水区等浸水対策事業(公共下水道事業特別会計)** ● 拡充
集中豪雨に対する本厚木駅周辺の浸水被害を軽減するため、あさひ公園の地下に雨水貯留施設を整備。H28年度から工事着手。H31年度完成予定。



子育て・教育

1

母子支援事業

● 新規

全ての妊産婦等の状況を継続的に把握し、妊娠から出産、子育て期にわたる切れ目のない相談体制の充実を図るため、母子保健コーディネーターを配置。

2

認定こども園一般型一時預かり事業補助金

● 新規

保育所待機児童の解消を推進するため、園児以外の幼児の一時預かりを実施する認定こども園に対し、利用児童数に応じた補助金を交付。

3

スクールアシスタント派遣事業

● 新規

教職員が子どもたち一人一人と向き合う時間を確保するため、小・中学校に学校業務を支援するスクールアシスタントを派遣し、教職員の負担を軽減。

4

放課後児童クラブ運営事業

● 拡充

保護者の方が安心して児童を預けることができるよう、放課後児童クラブの開所時間延長や対象学年拡大、クラブ増設による定員数拡大などを実施。

5

小学校教室冷暖房設備設置事業

H26年度から3か年計画で進めてきた小学校教室冷暖房設備設置事業の最終年度として、9校に冷暖房設備を設置。小・中学校の普通教室は100%完備。

6

公園施設安心安全対策事業

厚木中央公園の大型複合遊具を子どもから高齢者まで一緒に楽しく遊べる遊具にリニューアル。



中心市街地・ 交通対策

1

本厚木駅南口地区市街地再開発事業 ● 拡充

駅前広場の拡充整備や地上22階建てとなる再開発ビルの整備を促進。H28年度は既存建物の除却などに着手。H30年度完成予定。

2

中町第2-2地区周辺整備関連事業 ● 拡充

複合施設の基本計画案の作成に向けた施設の検討を行うとともに、(仮称)こども未来館・新たな図書館の基本構想、保健センターの除却設計、用地取得などを実施。

3

スマートインターチェンジ整備・用地取得事業 ● 新規

(仮称)厚木パーキングエリアスマートインターチェンジの開通に向け、測量や設計、事業用地の取得を実施。H30年度完成予定。

4

街路整備関連事業 ● 拡充

新東名高速道路(仮称)厚木南ICへのアクセス機能や都市計画道路としての交通ネットワーク構築のため、本厚木下津古久線と厚木環状3号線の早期整備を目指し、道路用地の取得や造成工事等を実施。H32年度完成予定。

5

赤坂竹ノ内線道路整備事業(継続費) ● 拡充

県道603号上粕屋厚木と市道赤坂津古久環状線を連絡する路線として、橋りょう工事や道路築造工事を実施。H29年完成予定。



経済活性化・企業 誘致・雇用創出

1

森の里東土地区画整理関連事業

森の里東土地区画整理組合に対する支援を実施。H27年1月に着手したA地区の工事進捗は約40%に達し、H29年度の完成と企業操業予定。

2

ロボット産業関連事業

● 新規

新たなロボット産業の振興と集積、ロボットの普及などを促進するため、ロボットの実用化を通じた地域経済の活性化に係る計画を策定。

3

土地区画整理推進事業

山際地区及び南部産業拠点（酒井地区）を対象に、土地区画整理の事業化を目指し、権利者組織に対し必要な支援を実施。H30年度組合設立予定。

4

将来を見据えた様々なプラン策定

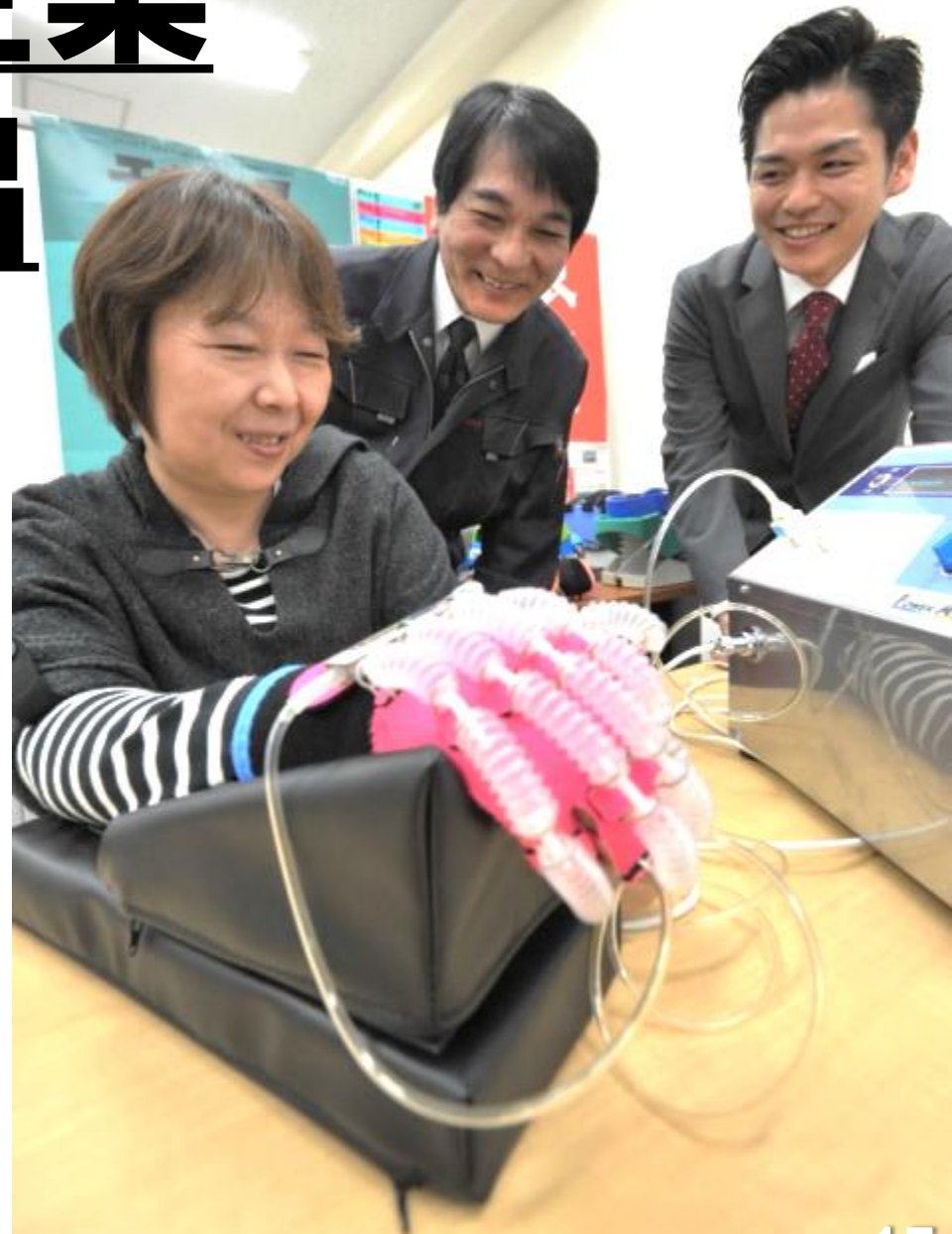
● 新規

将来のまちづくりを見据え、産業マスタープランや観光振興計画の改定、（仮称）商業まちづくり計画の策定を実施。

5

若者・女性等雇用拡大事業

正規雇用を希望する若者や結婚・出産後にキャリアブランクのある女性等を対象に人材育成や企業とのマッチングの場を提供し、就職活動を支援。



自然環境・再生可能エネルギー

1

農作物鳥獣防護対策事業補助金

● 新規

野生鳥獣などによる農作物被害を軽減するため、市内で農作物を生産している個人や団体に対し、防護電気柵や防護柵、防護網の設置を支援。

2

有害鳥獣防除団体育成交付金

● 新規

市内の有害鳥獣防除団体(2団体)に対し、組織存続と若い世代の新規加入を促進し、組織育成の強化を図るため、運営費交付金を交付。

3

再生可能エネルギー導入促進事業

● 拡充

再生可能エネルギーの導入を促進するため、災害時に防災拠点となる公共施設(玉川小・鳶尾小)に太陽光発電及び蓄電池システムを設置。

4

事業系ごみ内容物適正化推進事業

● 拡充

循環型社会を形成するため、環境センターに搬入される事業系一般廃棄物の内容物適正検査を実施し、事業系ごみの減量化・資源化を推進。



スポーツ・文化



1

市民体力向上推進事業

● 新規

日本体育大学等との連携により、幼児から高齢者まで幅広い世代の体力向上や健康増進を図るとともに、講師派遣、スポーツ交流などを推進。

2

あつぎスポーツアカデミー推進事業補助金

● 拡充

ジュニア育成部門のさらなる充実に向けて、未来のトップアスリートの発掘や育成、スポーツ教室の開催、指導者の養成などを支援。

3

オリンピック・パラリンピック支援推進事業

東京オリンピック・パラリンピック及びラグビーワールドカップ2019日本大会の事前キャンプ誘致活動や両大会の成功に向けた支援を実施。

4

公民館図書室オンライン・ネットワーク整備事業

● 新規

中央図書館と一体化したサービスを受けることができるよう南毛利公民館図書室をリニューアル。(市内9か所目)H29年1月オープン。

5

厚木南公民館新築整備関連事業

● 拡充

中心市街地の公共施設再配置計画に基づき、厚木南公民館の新築移転に向け、新築工事と現厚木南公民館の解体設計を実施。H29年春オープン。



その他の 地方創生



に向けた取組

1

あつぎの魅力創造発信事業 ● 新規

20歳代を中心とした若い世代の定住促進と転出抑制を図るため、住みたい、働きたい、訪れたいと思える魅力ある事業を検討・実施。

国の交付金を活用し、H27年度2月補正で措置した事業

2

出会いの場・交流の場創出事業 ● 新規

合計特殊出生率の上昇を目指し、結婚を望む方々の希望をかなえるため、新たな出会いの場や交流の場を創出するための事業を検討・実施。

3

まちの魅力を高める都市農業推進事業 ● 新規

都市農業を推進するため、耕作放棄地を再生利用する新たな担い手の農業定着に向けた支援や、青年の新規就農者に対し、支度金を支給。

4

“つながる大山(おおやま)”プロジェクト ● 新規

インバウンド戦略の推進や大山周辺エリアの魅力を高めるため、Wi-Fi環境の整備や外国人向けHPのコンテンツ作成支援、広域的な観光プロモーション動画やポスターなどを作成。

広域連携事業



厚木市



伊勢原市



秦野市



将来を見据え、持続可能な都市であるために

あつぎの 元気先見 予算 2016